

平成 29 (2017) 年 7 月 13 日

俳句会 於：ユック

九谷焼赤く燃へてるところてん

山本俊郎

越中越前越後夏座敷

山本俊郎

じゃがいもの咲いて屯田兵屋跡

上澤孝二

仕舞はれて神輿舎の高さかな

上澤孝二

ハーブ湯に乳房沈めて夏の月

木宮節子

七月や素肌の胸にぞくろ石

木宮節子

夏の雨衛兵達の赤い服

森山圭悦

朝風呂に客数人の神宮祭

森山圭悦

女学校の吹奏楽ヤリラ冷えて

船矢深雪

黄昏へ向けて火を吐く牡丹かな

船矢深雪

毒だみと言はるる花の哀れかな

松原智津子

半夏生川筋戻る夕づこころ

松原智津子

箱庭の刃物を唾えゆく鴉

杉野一博

水音の重なるたびの夏薊

杉野一博

八十路こえたとへば夏の長き午後

伊東次雄

父の日や母多弁にて父寡黙

伊東次雄